

平成28年度大学ポートレートステークホルダー・ボード 主な意見

1. 日 時 平成28年11月14日（月） 13:00～15:00
2. 場 所 学術総合センタービル11階 1112会議室

【公表・検索画面について】

- 民間サイトは私立大学の情報が多いため、国公立大学の情報が網羅的に掲載されている点は高校教員も評価している。（小林編集長）
- 共通のフォーマットを使ってわかりやすくというのが大学ポートレートの趣旨だが、国公私ともに受験生や保護者に分かりやすい情報を伝えることが必要。（小林主査）
- 検索をしてもほしい情報が出てこない。情報の見せ方を何とかしてほしい。（杉谷委員）
- 少子化のため保護者の進学検討の経験もかつてより少なくなってきたため、進路指導を高校教員に頼ることも多い。進路指導教員や高校生が使いやすいサイトであることが必要。（小林編集長）
- 高校の教員が見づらいウェブサイトは保護者は見ない。保護者向けのページを別途作ってはどうか。内容が硬いので保護者は内容についていけない。（森崎委員）
- 入試方法の多様化により、受験生や保護者も偏差値以外の軸を探している。各大学のきちんとした情報を一覧で見ることが大学ポートレートに求められることではないか。様々な指標のランキングが出てきたせいか、ランキングを意識し過ぎている。大学間や経年で見られるような表示がよい。（小林編集長）
- ユーザーにとって必要な情報が一覧で出ることが使いやすくなるうえで重要だと思う。（小林主査）
- 大学ポートレートには受験生にとって感動がない。学びたいことにどんなジャンル、教員がいて、どんな奨学金制度があるかといったことが一元的にわかるようなウェブサイトにしてほしい。（勝方委員）
- 目的なく大学進学した学生が進学してこう変わったといったような、現在大学に通っている学生の体験談を聞きたい。（森崎委員）
- 大学ポートレートの第1のステークホルダーは高校生、保護者だが、欲しい情報が得られないとステークホルダーに閲覧されなくなる。受験生向け、一般向け、など異なるユーザ向けのページを作ってはどうか。（杉谷委員）
- 大学評価が載っているのはよいが、リンク先が大学により異なる。掲載情報について大学向けにガイドラインを定めてはどうか。（小林編集長）

- トップページから認証評価機関連絡協議会のウェブサイトに飛んでも、一般の人にはわからないだろう。大学評価について、わかりやすい説明が必要。(小林主査)

【広報について】

- 内容の充実も大切だが、高校生・保護者に届くような広報をしないと意味がない。 PTAでもチラシ等広報物を高校に送付しているが、学校に届いても生徒、保護者に届かないといったことが起きている。(森崎委員)
- 広報活動の状況について、資料を見る限り単発的な印象がある。もっと効率的にアナウンスする必要がある。(杉谷委員)
- 国公立に進学する学校にセグメントし、広報を行い、検証するといったようなPDCAを回していくのはどうか。なるべくピンポイントで、グルーピングして組み合わせるやっていくのがよいだろう。(川目委員)

【その他】

- ページビュー数について、民間のウェブサイトのそれと桁が2、3違う。論理的に妥当な目標と大学ポートレートの存在意義としてどこを目標とするか、両方の目標が必要である。(川目委員)
- 民間のサイトを見るだけでも改善点が見つかると思う。高校の先生等に集まっていただき、改善点をヒアリングすると意見がたくさん集まるのではないか。(川目委員)